

第三十五号 二〇一六年九月十五日発行



高山留学生学生だより

かけはし

発行 公益財団法人 高山国際教育財団
住所 〒160-0022
新宿区新宿 1-1-11 友泉新宿御苑ビル
電話 03-3225-8058
ファックス 03-3355-7654
e-mail TIEF@takayama-foundation.or.jp
ホームページ <http://takayama-foundation.or.jp>

2016 年度奨学生授与式報告



去る7月13日（水）、公益財団法人高山国際教育財団の2016年度奨学生授与式がヒルトン東京で平井理事長はじめ役員の皆様方、学校関係者のご参列のもと開催されました。（詳細は2ページに続く）

かけはし第 35 号目次

表紙 2016 年度奨学生授与式報告 集合写真	1
目次	3
2016 年度 授与式・7 月例会報告	1-11
2016 年度 5 月例会報告	11-19
高山留学生会館 納涼会報告	19
編集後記	20

2016 年度 授与式・7 月例会報告

開催日 2016 年（平成 28）年 7 月 13 日（水）
出席者 平井理事長、劉理事、近森理事、福元理事、
渡邊理事、福田理事、水島監事、
加藤評議員、宇野評議員、陳選考委員、
秋山選考委員、2016 年度奨学生 63 名、2015
年度奨学生 38 名、2014 年度奨学生 1 名、
2013 年度奨学生 0 名、特別奨学生 5 名、
高山留学生会館生 8 名、元奨学生 2 名、元
会館生 2 名、ゲスト 14 名、事務局 5 名、
合計 149 名

[平井理事長ご挨拶]

皆様、今晚は。今日は、
公益財団法人高山国際教
育財団の 2016 年度奨学
金授与式でございます。
奨学生として厳しい関門
を通り、新しく選抜され
た皆様大変おめでとうございます。



今年度は今までで一番多くの応募があり、それぞ
れ優秀な応募者であったため選考委員の先生方が、
大変苦勞をされたと同っております。本年は新しく
奨学生になられた 64 名の皆さんと昨年からの継続
の皆さんと合わせて 112 名の皆さんに奨学金を支
給することになりました。

優秀な奨学生を推薦していただいた学校関係の
皆様大変有難うございました。日ごろからのご協力、
ご理解と合わせて厚く御礼申し上げます。また、書
類審査、面接と長時間にわたり選考頂いた選考委員

の先生方、事務局の皆さま大変有難うございました。
さて、当財団は、初代理事長高山成雄氏が、2001
年 5 月に設立した財団で、設立時 25 名であった奨
学生数が、昨年度まで 663 名になりました。その内
博士号取得者累計で 33 名になっております。

高山理事長は、幼少の頃から日米を何度となく行
き来をし、両方の国で教育を受けられ、米国では自
由な発想と独立心を身に着け、日本では他人を思い
やる優しい心を育み、戦後、日本に戻られブラジル
から天然の水晶を輸入する貿易会社・伯東株式会
社を設立され、現在東証一部に上場し、年間売り上げ
約 1100 億円の企業になっております。伯東に関し
ては、後程伯東の方からご説明をお願いしてござ
います。高山理事長は事業を成功に導くと同時に各種
の社会活動に積極的に参加されました。それらの活動
を通じて日本に留学している学生の内、経済的理由
で留学の継続を断念しなければ方々いることに心
を痛めておりました。日本に来て、日本語を勉強し、
色々な分野での勉強をしたいと願っているアジア
を中心とした方々に援助をし、その方々の夢の実現、
さらには国際人として活躍してほしいと願い、その
思いを実現するため、高山理事長個人の財産の大半
を投入し、当財団を設立されました。当財団のすべ
ては高山理事長が寄付された伯東株式会社の株式
の配当金を基本に賄われております。このことは、
創業者利益は社会に還元したいという高山理事長
の強い信念に基づいているものです。残念ながら、
高山理事長は 2010 年 7 月 94 歳でお亡くなりになり
ました。

当財団は奨学金支給と宿舍事業を行っております
が、設立当時より当財団の特色として奨学生が孤